

大型魚礁設置事業

山本隆司

本事業は継続事業である。昭和55年度、水産試験場担当分について記載する。

I 事前調査

調査項目は深浅測量と底質調査の2つで、それらを適地選定の資料とした。

II 調査地区、期日、調査船及び調査員

1. 糸満地区 I、II

昭和55年6月25日～28日　くろしお　山本隆司、海老沢明彦

2. 今帰仁地区 I、II

昭和55年7月29日～8月2日　くろしお　山本隆司

3. 石垣地区、竹富地区

昭和55年10月4日～7日　傭船　山本隆司、海老沢明彦

4. 具志頭地区

昭和55年11月26日　くろしお　山本隆司

III プイ打ち

大型魚礁を沈設するための海上の位置目標として、下期の期日、位置にプイを打った。

昭和55年9月19日

伊是名地区 ($26^{\circ} - 56.3' - N$ 、 $127^{\circ} - 53.3' - E$)

今帰仁地区 I ($26^{\circ} - 43.5' - N$ 、 $128^{\circ} - 0.5' - E$)

昭和55年10月7日

石垣地区 ($24^{\circ} - 28.2' - N$ 、 $123^{\circ} - 57.9' - E$)

竹富地区 ($24^{\circ} - 23.3' - N$ 、 $123^{\circ} - 58.7' - E$)

昭和55年11月27日

具志頭地区 ($26^{\circ} - 5.1' - N$ 、 $127^{\circ} - 47.4' - E$)

昭和56年2月28日

糸満地区 I ($26^{\circ} - 3.2' - N$ 、 $127^{\circ} - 34.6' - E$)

糸満地区 II ($26^{\circ} - 3.4' - N$ 、 $127^{\circ} - 35.5' - E$)

昭和56年3月3日

今帰仁地区 II ($26^{\circ} - 44.2' - N$ 、 $128^{\circ} - 0.8' - E$)

昭和56年3月6日

下地地区 ($24^{\circ} - 42.7' - N$ 、 $125^{\circ} - 10.9' - E$)

昭和56年3月18日

糸満地区 II (プイ流失のため打ちなおし)

IV 大型魚礁設置個数及び設置年月

1.	伊是名地区	1.5 m角型ブロック	1,260コ	昭和55年10月沈設
2.	今帰仁地区Ⅰ	1.5 m角型ブロック	1,289コ	昭和55年10月沈設
3.	今帰仁地区Ⅱ	1.5 m角型ブロック	1,130コ	昭和56年3月沈設
4.	糸満地区Ⅰ	1.5 m角型ブロック	1,142コ	昭和56年3月沈設
5.	糸満地区Ⅱ	1.5 m角型ブロック	1,142コ	昭和56年3月沈設
6.	具志頭地区	4 m角型ブロック	52コ	昭和56年1月沈設
7.	下地地区	1.5 m角型ブロック	1,131コ	昭和56年3月沈設
8.	石垣地区	4 m角型ブロック	52コ	昭和56年3月沈設
9.	竹富地区	1.5 m角型ブロック	1,170コ	昭和55年11月沈設